

JA横浜子どもの未来支援助成 第2回



助成団体紹介



目次

JA 横浜ご挨拶	1
----------	---

助成団体紹介

ふれあいっこ三ツ沢	2
特定非営利活動法人 バンブーまなび塾	2
みんなで学ぶ ぼんぼんたいむ	3
NPO法人 神奈川区多文化共生の会	3
港北ユーステーブル	4
みんなの居場所 結	4
こども食堂 ハレの日ケの日	5
NPO法人 パオパオの木	5
NPO法人 宮ノマエストロ	6
TIE トマトマの会	6
NPO法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ	7
特定非営利活動法人 体験活動サポート開港場	7
横浜みどりの学校ひまわり	8
JA横浜子どもの未来支援助成 ～趣旨～	8
かながわ生き生き市民基金とは	9



この助成が新たな一歩となり、 子どもたちの明るい未来に繋がるように

J A 横浜
代表理事組合長 柳下 健一



J A 横浜は、「食」と「農」を基軸とする地域に根ざした農業協同組合として地域のために何ができるのかを考え、横浜市内で深刻化する「子どもの貧困」という社会課題に対し、真摯に取り組んでいる市民団体の皆さまに向けて支援する「J A 横浜子どもの未来支援助成」を独自基金として創設し、今回で 2 回目となります。

「子どもの貧困」の背景には様々な社会的要因があり、各家庭を取り巻く環境も一律ではありません。

本助成を進めるにあたり、今回は横浜市内で、「子どもの貧困」課題に向き合い活動している非営利団体に対し、「無料塾」・「フリースクール」などの学習支援活動を助成対象とし、申請のあった 13 団体に対し、総額 200 万円の助成を行うことができました。

J A 横浜は今後も、(公財) かながわ生き生き市民基金と協力して、市民同士の助け合いで子どもたちの「今」を支え、「未来」をつくる活動を応援していきます。

「子どもの貧困」という社会課題は多様で見えにくいため、解決には時間がかかることかもしれませんが、私たちの取り組みが、その解決に向けた新たな一歩となり、子どもたちの明るい未来に繋がると信じています。

ふれあいっこ三ツ沢(神奈川区)

代表 小川 真奈美

助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

茨城から毎月野菜を届けてくれる大嶋農園に行って農業体験をしよう!!

★団体紹介

設立年月 2017年9月

団体の目的・活動内容



「失敗から学ぶ」と言われますが、その為にはまず色々な経験を積む事だと思います。経済的な面から考えると、基本的な日々の暮らしが優先される家庭では、旅行等のレジャーにかかるお金がないばかりでなく、家族でゆっくり過ごす時間がないのではと推測できます。私たちは、未来ある子ども達に色々な経験をさせてあげて、生きる力を養ってほしいという思いがありバス旅行、農業体験、生産者さんとの交流という企画を考えました。

団体情報

住所：神奈川区三ツ沢上町18-4「ふれあいっこ三ツ沢気付」

TEL：045-320-6792

Mail：manatee32zw0810@gmail.com

URL：

<https://kids33comm.jimdofree.com>(HP)

<https://kids.fureaikko@gmail.com>(MD)

助成をうけて…の思い・メッセージ

こども食堂のメニュー表の提供者の欄に毎月「大嶋農園」の記載があります。しかも茨城、そんな遠くから野菜が届くのだとは思っていましたが、その生産者さんと、まさか交流が出来るとは思っていませんでした。今回20万円の助成金が頂けたおかげで実現出来た企画でした。「バス旅行」「農業体験」「生産者さんとの交流」という、3つのテーマを掲げた、夏休みのお楽しみ企画。「バス旅行」は学校以外ではなかなかない経験。「農業体験」は、そこまでハードではなく、「収穫体験」でしたが、私も初めての体験でした。「生産者さんとの交流」は、代表の私だけが一度だけお会いして、その後はメールのみで参加者にとっては初めましてでした。そんな、ワクワク・ドキドキの経験が詰まったこの企画。このような企画はまず資金がないと出来ませんし、「未来ある子供達に色々な経験をさせてあげたい」という、ふれあいっこ三ツ沢の想いが実現出来た事が、最大の成果だと思っています。



特定非営利活動法人 バンブーまなび塾(港北区)

理事長 竹内 直美

助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

不登校ひきこもり、障害、貧困等困難を抱える子ども若者に対し、学習支援、居場所、その他支援を通じ自己肯定感を高め自立への支援をする。



★団体紹介

設立年月 2015年4月1日

団体の目的・活動内容

貧困の連鎖からの脱却を目指し将来自立して生きていくために必要な、自己効力感を高めるための学力をつけ、学歴や資格を得て進路を広げられるよう必要な支援をする。

団体情報

住所：横浜市港北区大曽根二丁目34番26号

TEL：045-541-3897

Mail：bamboombj@gmail.com

URL：<https://bamboombj.jimdo.com/>

助成をうけて…の思い・メッセージ

先日今話題の本、「体験格差連鎖するもう一つの貧困」を読みました。貧困と教育、体験の格差が未来を生きる子ども達に大きく影響しているのは知られているところです。今回の助成金はそんな子供たちの貧困に立ち向かう市民活動応援という点で、地域で地味ですが子ども達に向き合って学習や体験不足を補う活動している当法人には大変ありがたいと今後も続けて行こうという勇気を持つことが出来ました。この活動に目を向けていただいた事に感謝しています。



みんなで学ぶ ぼんぼんたいむ(金沢区)

代表 山岸 重美

助成金170,000円

★助成した事業・活動

小中学生を対象とする学習支援活動



★団体紹介

設立年月 2021年4月

団体の目的・活動内容

小中学生は親の就労や様々な家庭環境のもとで、放課後を塾や習い事に忙しくしている子どもや、一方で放課後に一緒に過ごす人がいない、学校に行けていない子どもがいます。そこで大学生や多世代の地域のおとなたちの学習サポーターと宿題などの勉強をしたり遊んだりしながら、とりわけ後者の子どもたちに安心できる居場所を、また忙しく過ごす子どもたちにはホッとできる時間を提供したいと考えています。またボランティア希望のある地域の方の受け入れを図ります。

団体情報

住所： 横浜市金沢区富岡東3丁目14番47
富岡サロン ジュピのえんがわ内
TEL： 045-294-2947
Mail： 20210109bonbon@gmail.com

助成をうけて…の思い・メッセージ

「みんなで学ぶ ぼんぼんたいむ」は子どもさん自身が利用を希望してくれば利用可能、出欠席もふくめ何をして過ごすかは子どもの自主性におまかせが基本的なスタンスです。前は宿題に精一杯取り組んでいた子どもが今回は来るなりに、今日はゆっくりしたいとサポーターとの話に興じ、帰る時には「あー、今日も楽しかった」と言ってくれたりします。実は楽しかったの言葉は運営側のスタッフの思いであり、スタッフが子どもたちに癒されているようです。その日のぼんぼんたいむの在りようは集まってくる子どもたちが作っているのだから、これからのぼんぼんたいむはどのように成長していくのか苦難にぶつかるのか楽しみと不安が相まっているのが実情です。地域の中にそっと在る小さなぼんぼんたいむですが、子供たちの成長を見守り、地域を豊かにする種まきのひとつとなりたと思っています。このようなぼんぼんたいむの運営に助成して下さる「かながわ生き活き市民基金」の応援を心強く思っています。



NPO法人 神奈川区多文化共生の会

(神奈川区)

理事長 岩間 良一

助成金額172,000円

★助成した事業・活動

一人親を含む外国につながる子どもたち親子のお出かけイベント



★団体紹介

設立年月

2014年7月設立 2022年12月 NPO法人取得

団体の目的・活動内容

目的：神奈川区の日本人と外国人の多文化共生の活動の運営及び支援活動

内容：プチ贅沢なお出かけを親子で楽しんでもらい、みんなが笑顔になる親子の思い出を作る。

団体情報

住所：神奈川区六角橋一丁目11番10号すぺーすろっかく内
TEL：045-401-8320
Mail： tabunka.yokohama@gmail.com
URL： <https://www.kanagawa-ku.com/>

助成をうけて…の思い・メッセージ

神奈川区多文化共生の会が運営支援している学習支援教室の外国人家族を中心に日帰りバスツアーを企画した。外国人の子どもが関心を持ってくれる行先であり、かつ夏休みの一日を家族皆で楽しめる内容とすることに重点を置いた。同時に、助成金に基づく事業である為、透明性の高い運営と子どもの安全の確保という点にも留意し旅行準備委員会を立ち上げ、企画運営に取組んだ。幸い、合い見積もりで選定した旅行業者が親身で協力的であり、事前準備もスムーズに進めることができた。ツアー当日は天候にも恵まれ、予定通りに旅程をこなすことが出来た。訪問先でも、バス車中でも、参加者の子ども達、親御さんも皆仲良く一体となって1日を楽しんだ。猛暑にも関わらず参加者のケガ・病気・事故もなく、無事に一日を終えることができた。皆の意見としてはもし来年も助成金が戴ければ日帰りバスツアーを実施してほしいという希望が多く寄せられた。助成金を戴き、御礼を申し上げたい。



港北ユーステーブル（港北区）

代表 鈴木 澄江

助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

海外にルーツのある小中学生のための学習支援教室
「とことこ」の運営



★団体紹介

設立年月 2021年2月

団体の目的・活動内容

地域の子ども及び若者たちの社会的自立の支援を目的とし、それぞれの特性や生育環境の実態を踏まえた支援を行う。またその実現のため地域で活動する他団体との連携を図り、協力して活動する。

団体情報

住所： 横浜市港北区綱島東4-6-38

TEL： 080-6532-7472

Mail： kouhokuyouthtable@gmail.com

助成をうけて…の思い・メッセージ

このたびは私たちの活動に支援をいただきありがとうございました。おかげさまで今年度の前半は、会場費、光熱費などの固定費がほとんど賄えたので、安心して活動に専念することができました。毎週3回～4回の開催により、幼い子どもたちの日本語の勉強のお手伝いから、近隣の小学生たちとともに創造的な遊びを展開することのできる楽しい場の提供、言葉や文化のハンディで日本の学校の仕組みについていくのが大変な中学生の学習支援まで、様々な活動を行うことができました。ゆったりした時間の中で、ボランティアがひとりひとりの子どもたちと接することのできる環境の中で気づくことは多くあり、これからも家庭や学校とは違うもうひとつの場として役割を果たしていきたいと思っています。



みんなの居場所 結（金沢区）

代表 清水 真理子

助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

「こどもの居場所 みちくさ」での
学習支援活動



★団体紹介

設立年月 2018年6月

団体の目的・活動内容

様々な生きづらさを抱える子ども達の居場所づくりを目的として、習字教室と学習支援を両軸として行っています。学習支援は、帰国生や経済的な理由で通塾困難だったり、保護者が多忙で宿題を見てもらえない等、勉強面での躓きを抱えた子ども達を現役の塾の先生が分かりやすく丁寧にサポートする事で、勉強への苦手意識を少しでも軽減する事を目的としています。

団体情報

住所： 横浜市金沢区洲崎町1-5

TEL： 045-790-1020

FAX： 045-353-9291

Mail：

kyotakuyui@kyotaku-yui.or.jp



助成をうけて…の思い・メッセージ

ご家庭の経済事情等で、塾や習い事に行きたくても行けない子ども達は年々増えていると思います。助成金のおかげで、各ご家庭の経済事情に関わらず学ぶ機会を地域の子ども達に経験してもらえた事を心より感謝致します。現代の子ども達は、共働きの保護者が大半の中、親の傍らでゆったり宿題に取り組むような時間を持つ事は年々難しくなっていると感じます。授業でわからない内容を、経済的理由で通塾できない等聞く術のない子ども達にとって、学校の授業は苦痛になっているのではないのでしょうか。学習支援ボランティアでは、子どもの「今日はこれを学びたい！」という気持ちを尊重していくうちに、どんどん難しい課題にチャレンジする姿勢が増えてきます。学校でも家庭でもない第三の居場所だからこそ、助走期間がとても長く必要な子ども達をしっかりとサポートできるのだと考えており、これからも支援を続けていく所存です。

こども食堂 ハレの日ケの日（西区）

代表 鈴木 奈穂子

助成金額 86,000円

★助成した事業・活動

こども食堂ハレの日ケの日
「みんなのおうち」



★団体紹介

設立年月 2019年11月

団体の目的・活動内容

- ① 学校以外でのびのびと遊べる場所の確保
- ② 親や先生以外の大人や、他校の子ども達とのかかわりを持つことで、社会的スキルを身に着ける
- ③ 近隣小学校3校の支援級の交流の場となる

団体情報

住所： 横浜市西区老松町54

TEL： 045-262-5770

Mail： harenohi.kenohi.kids@gmail.com

URL： <https://www.harenohi-kenohi.com>

助成をうけて…の思い・メッセージ

支援級の子どもの居場所開放は、利用料が無い
ため、事業収入はゼロとなりますが、一方で、見
守りの大人の増員が必須となります。この助成金
によって木曜日の定期訪問日だけでなく、土曜日
の見守りスタッフを増員することができました。これ
により、安全に一般の参加者と過ごすことができ
ています。障害の有無にかかわらず、誰でも来る
ことができる居場所として運営していくことがで
きましたことを心より感謝申し上げます。



NPO法人 パオパオの木（保土ヶ谷区）

理事長 伊藤 奈美

助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

第3の居場所「ねっこカフェ」



★団体紹介

設立年月 2018年5月

団体の目的・活動内容

子育て中の親子と地域の方々に対して交流の場を提供し
子育て支援事業を行う。親と子のつどいの広場マムマム
・パオパオこどもひろば・パオパオ菜園クラブ・ねっこ
カフェ

団体情報

住所： 横浜市保土ヶ谷区狩場町301-56
アルカディア壱番館102

TEL： 045-517-0834

Mail： yokohama@paopaonoki.org

URL： <https://www.paopaonoki.org/>

助成をうけて…の思い・メッセージ

第3の居場所「ねっこカフェ」は令和4年から活動
をはじめました。当初は不登校、または学校に行く
のが辛い子や、その親達の当事者の会のような活動
でしたが、少しずつボランティアや参加者も増え、
課題を抱える親子を応援していく居場所へと変わり
学習支援も実施できるようになりました。駅から遠
い急坂の上の立地から、参加者はあまり多くありま
せんが、地域に学習支援の場が他にないため、貴重
な活動となっています。学校に行けるようになった子
も多く、ボランティア活動体験などで成長を感じる
機会がありました。そして、継続的に相談援助をし
てきたことで、安心できる居場所となることがで
きました。機会がありましたら、また助成を受けたい
と思います。ご支援頂きありがとうございました。



NPO法人 宮ノマエストロ (泉区)

理事長 高橋 裕子
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動 みやまえ塾



★団体紹介

設立年月 2018年9月

団体の目的・活動内容

地域に暮らす高齢者、青少年・児童及びその保護者に対し、介護予防・生活支援、子育て支援に関する事業を行うほか、地域住民の交流を目的とした集いの場を提供することにより地域住民の居場所を作り住民が共に助け合う社会を実現させ、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的とする。

団体情報

住所： 横浜市泉区中田東4-59-41

TEL： 045-884-0246

Mail： miyanomaesutoro
@yahoo.co.jp

URL： <https://miyanomaestro.or.jp/>



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

無料塾は経済的理由等で塾に通いたくても通えない子どもたちに平等に学習や体験の経験をしてもらう事が目的ですが、助成がないと体験活動など幅広い活動支援が困難です。

今回の助成では公式LINEで出欠連絡とともに保護者への学習状況の連絡や相談などをできるようにして活用できましたし、地域の方々との体験活動ができました。子どもたちには勉強に意欲を持ってもらったことは一番ですが、教える側の大学生、地域の大人にも子どもたちの成長を見てもらったことは収穫でした。



TIEトマトマの会 (神奈川区)

代表 山縣 紀子
助成金額 149,000円

★助成した事業・活動 トマトマ教室運営事業



★団体紹介

設立年月 1997年4月

団体の目的・活動内容

外国をルーツに持つ、主に中高生の日本語・教科支援と交流を目的としています。

団体情報

住所： 茅ヶ崎市 (非公開)

Mail： noriko-noko@ozzio.jp



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍状況の様々な制約が少し落ち着いてからまた子ども達の来日が増したようで、教室への参加希望が少しずつ増えています。特に来日したばかりでの日本語学習希望が多く、今目立つのは中学を卒業してきた生徒の高校受験で、公的な勉強の場がなかなか得られないことです。それに依って増々こうしたボランティア教室の対応が求められています。本来せめて高校生までは学習の場の保証が必要と思っています。そのうえで、学習の補完と安心できる居場所でもある教室が大事なのではないかと、まるまるボランティアのサポーター達がこうした助成金を受けながら活動を続けることができています。



NPO法人 子どもと共に歩む
フリースペースたんぽぽ（鶴見区）
理事長 青島 美千代
助成金額 151,000円

★助成した事業・活動

子どもたちのやりたいを大切に！遊びと体験 で人とつながるプログラム

★団体紹介

設立年月

2008年5月

2014年5月（NPO法人化）

団体の目的・活動内容

学校や家庭・地域の中に居場所を見いだせない子どもや若者たちが、安心して過ごせる居場所、学校外の出会いと学びの場を共に作り、人とつながりながら、自分らしく生きていける環境を模索し、この実現に寄与することを目的とする。人権の擁護又は平和の推進を図る活動、子どもの健全育成を図る活動、社会教育の推進を図る活動

団体情報

住所： 横浜市鶴見区佃野町1-7 深谷ビル202

TEL： 045-834-7970

Mail： info@freespace-tanpopo.com

URL： <https://freespace-tanpopo.com/>



助成をうけて…の思い・メッセージ

今回、助成していただき、本当にありがとうございます。不登校の子どもたちが年々増加する中で、私たちのような小さな居場所でも、相談に来る保護者の方が本当に多くなりました。助成金で、子どもたちが一番楽しみにしていた大きなモニターが届き、みんなと一緒に同じ画面で楽しそうにゲームで遊ぶ機会が多くなりました。子どもたちの楽しいという気持ちは、元気や意欲を作り、それは学習への意欲向上や様々な活動にも広がりました。また、モニターは保護者も含めた交流等にも活躍しています。これからもひとり一人が楽しい時間を重ね、次の一歩を進んでいくことを応援したいと思っています。



特定非営利活動法人 体験サポート開港場
（保土ヶ谷区）
理事長 小市 聡
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

農業体験を通じた学習意欲の向上と地域貢献

★団体紹介

設立年月 2022年4月

団体の目的・活動内容

- ・高校生の就業体験、食育、人権活動、高卒資格取得支援
- ・地域振興、地方創生支援
- ・学校への支援 ・調査研究、発信

団体情報

住所： 横浜市保土ヶ谷区釜台町25-26

TEL： 090-8726-9391

Mail： koichisatoshi51@gmail.com



助成をうけて…の思い・メッセージ

コロナが明けて、高校生も様々な体験を学校外で行える状況が回復してきました。しかし同時に、教員の働き方改革も強く叫ばれ、学校行事や部活動、体験活動等は授業を最優先することから削減される結果となりました。この相反する状況の中でも生徒の体験は、卒業後の将来に大きな影響を与えるものであり、これをおろそかにする事はできないと考えます。そのような現状で生徒の体験の場が与えられ、学校や先生の負担を軽減する手段として外部のサポート活動はますます必要になると思われます。その活動も全くのボランティアでは継続しません。活動を支えてくれる助成金あっての話だと思います。この助成金が将来の大人及び発想を持って社会を変えていく市民の原点となる大切な助成だと思います。



横浜みどりの学校ひまわり
(青葉区)
校長 渡辺 正彦
助成金額 72,000円

★助成した事業・活動

AI時代における子どもたちのITスキル支援

★団体紹介

設立年月 2011年6月

団体の目的・活動内容

目的：「学校で苦戦する子どもの支援」、「学校で苦戦する子どもの保護者の支援」

活動内容：

- ①子どもの居場所及び学習支援活動
- ②子どもの社会性構築支援
- ③かみゆが 支援（子ども、保護者）
- ④子ども食堂活動（校内）
- ⑤地域行事への参加、共催・後援
- ⑥講演会活動（子育て支援）



団体情報

住所： 横浜市青葉区しらとり台 80

TEL： 090-9201-3992

Mail： masahiko-w-0616@ezweb.ne.jp

助成をうけて…の思い・メッセージ

まず、このような助成金制度がある事は、我々子ども支援の活動を継続的に行っている団体にとっては、大変に有難く心から感謝しております。

今回は、申請金額の20万円に対して72,000円の助成金の付与だったために予定していたIT器材の購入を控え、急遽ITルーム（パソコン室）の新設をして従来の活動部分の賃借料と合算した賃借料（家賃）の一部として助成金を活用させていただきました。本助成金を享受するのは2回目です。助成金申請の手続き事務が簡素化されていること、使用内容が比較的

に自由であることなど大変に有難く思います。いつも利用させていただいているJA横浜様の助成金であることにも非常に親近感を抱くことができ、活動意欲が高まりました。



JA 横浜 子どもの未来支援助成

JA横浜は、「食」と「農」を基軸とする地域に根ざした農業協同組合として、「子どもの未来」を支援する施策に取り組めます。

横浜市内には、「子どもの貧困」という社会問題に向き合い、食の支援、学びの支援、安全な居場所づくり等に取り組んでいる市民団体が多くあります。多様で見えにくい貧困の状況に対して、市民同士の助け合いで子どもたちの「今」を支え、子どもたちの「未来」をつくろうという活動です。

JA横浜は、(公財)かながわ生き生き市民基金と協力して、この活動を応援します。

公益財団法人かながわ生き生き市民基金

◆私たちのミッション

<投資して利潤を稼ぐことが経済>という考えが現代社会に蔓延しています。人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。

しかし一方で、豊かな生活をつくるのが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、子どもや障がいを持つ人々などが生きにくい社会になっています。

「かながわ生き生き市民基金」は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆私たちの事業・活動

福祉たすけあい 助成（通常型）	福祉たすけあい 助成（スタート助成）	子どもの貧困に立 ち向かう市民活動 応援助成	市民活動応援 フォーラム
ユーコープ 子ども応援助成	JA 横浜子ども 未来支援助成	遺贈・生前贈与 相談	市民活動応援講座

。



発行：公益財団法人 かながわ生き活き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6F

Tel : 045-620-9044 Fax : 045-620-9045

Mail : info@lively-citizens-fund.org

URL : <http://www.lively-fund.sakura.ne.jp>

発行日：2025年2月1日

発行部数：1100部